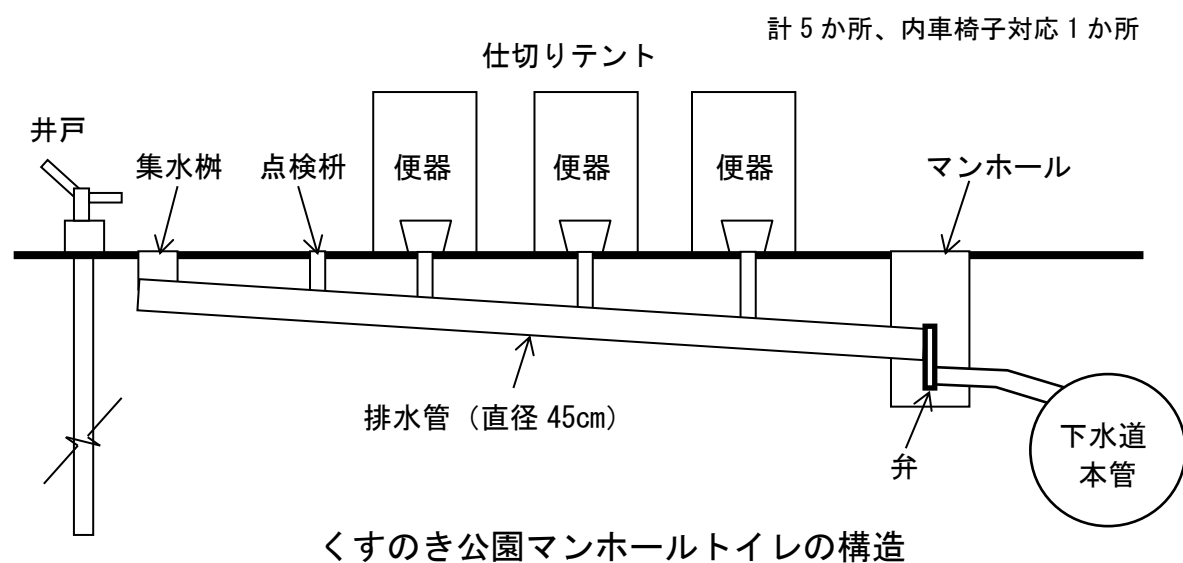




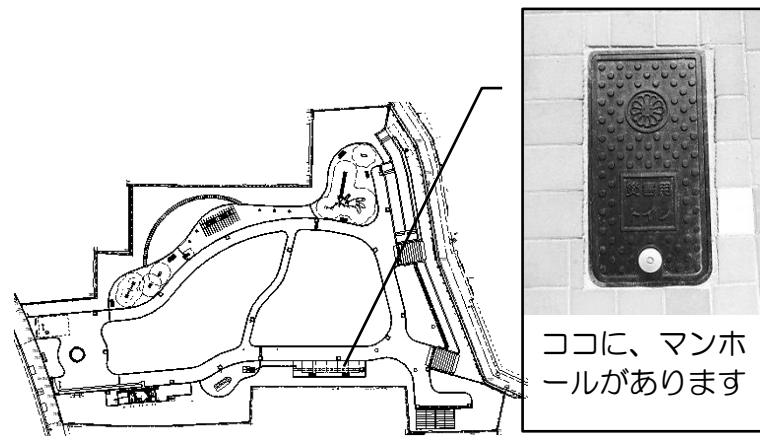
～くすのき公園のマンホールトイレ～

昨年3月に開園した、くすのき公園にあるマンホールトイレは、下図のような構造になっています。このマンホールトイレは、災害時、上水道が使用できない場合でも使え、避難生活時に大変役立ちます。(但し、下水道が使用できない場合は使えません)



－マンホールトイレの使い方－

- 井戸水や雨水をトイレ下の排水管の中に溜め、弁を開けることで一気に下水道に流すことができます。(上水道が使用できなくても使えます。)
- 常に配管の中に水を入れることで、汚物が管の壁にこびりつくのを防ぎ、流れやすくなります。



👉ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1

豊島区都市整備部 地域まちづくり課 TEL 3981-1464

上池袋地区

題字：西村鶴洞氏

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

No.58

－「空き家調査」を行いました－

上池袋第2・3地区まちづくり協議会では、空き家問題について取り組んでいます。

空き家は、長期に放置されると、老朽化しやすく、災害時に倒壊し燃える恐れがある上に、平時においても放火や不法侵入、ゴミの投棄、雑草の繁茂、まちの活力が低下するなどの問題が心配されます。

そこで、まずは、地区内の空き家を把握するため、『空き家調査』を行いました。

また、狭あい道路拡幅のため、『駐車場調査』も行いました。

詳しい内容は、次ページをご覧ください。

【主な調査項目】

- 建て方（戸建て・共同住宅等）
- 構造（木造・非木造）
- 表札（有り・無し）
- 郵便受け（受口が塞がっている等）
- 生活サイン（鉢植えがない等）
- 建物の危険性（外壁が破損等）
- 接道状況

・・・等

マンホールトイレの 使い方を学びました

第4地区まちづくり協議会では、くすのき公園の防災施設（マンホールトイレ等）について学びましたのでご紹介します。



災害時の 避難先・避難路 について 考えましょう！

第1地区まちづくり協議会では、今年度作成した「車いすを使ったまち歩きマップ」を使って、災害時の車いすを使った避難、搬送について検討しました（次ページ参照）。

皆さまも是非、自分の避難先、避難路、避難方法について考えてみてください。

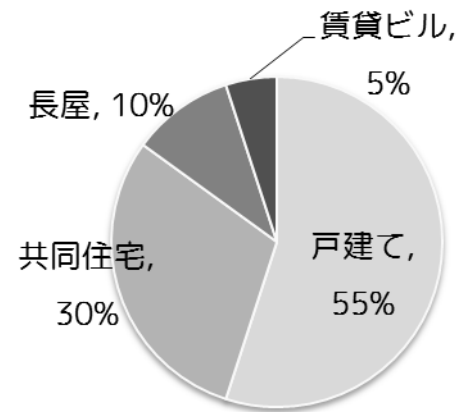
「空き家調査」



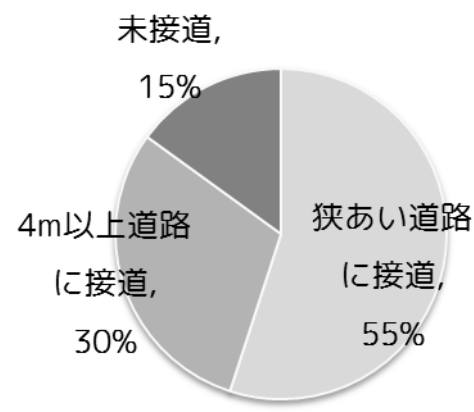
■空き家調査の方法

平成27年11月28日(土)、東一町会と、上池袋町会の一部の範囲で、事前に町会で調べて頂いた空き家28件について、「調査シート」をもとに外観目視で実地調査しました。町会の皆様にはご協力頂きありがとうございました。

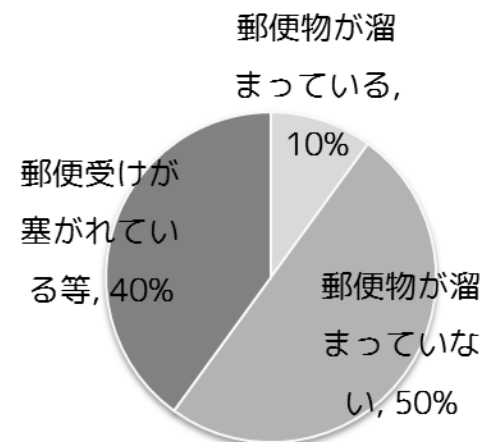
■空き家調査結果の一部



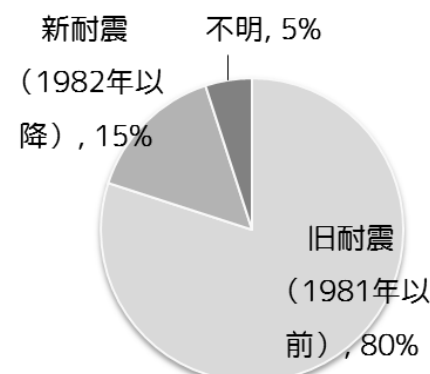
○戸建てが過半数を多く占める



○狭あい道路に面している建物が多く、建替えると敷地面積が狭くなる等の課題がある



○郵便受けが溜まっていない建物が半数を占め、定期的な管理下にあることが推定される



○老朽建物が多く、耐震性に不安がある

■今後について

今後は、今回調査できなかった上池袋3丁目町会や、上池袋町会その他の範囲も調査していきます。また、対応策として「何か問題が起きた時には、空き家所有者と連絡がとれるようにする」等を検討しています。皆さまからの情報提供をお待ちしております。

「車いすを使ったまち歩きマップ」を使って、避難先と避難路について考えましょう！

第1地区協議会では、災害時の車いすによる避難や搬送支援の方法について、今年度作成した「車いすを使ったまち歩きマップ」を使って検討しました。

その結果、大地震発生直後の、地域住民による車いすでの避難支援は難しいことが分かりました。その主な理由は以下のとおりです。

- ①火災等があれば、支援者の安全確保が難しい
- ②坂道や段差など通行が難しい道があり、がれき等で道路閉塞する可能性もある

そのため、とくに、自力での避難が難しい要援護者(高齢者、障害者、乳幼児、妊婦等)の方は、あらかじめ家族や近隣、福祉関係者等の方と一緒に、避難先、避難路、避難方法(担架など)について確認をお願いします。

「車いすを使ったまち歩きマップ」を、区民ひろば豊成に掲示しますので、ぜひ参考にしてください。



まずは、自分の身は自分で守る<自助>が大切です

「駐車場の塀調査」



第2・3地区協議会では、狭あい道路拡幅に向けた活動を進めています。

その中で、狭あい道路に面している駐車場について検討しました。所有者に働きかけて、駐車場の塀を除去して貰うことにより、4mの道路空間を確保したいと考えています。(右図参照)

まずは、地区の状況を把握するため、全ての駐車場を調査した結果、4m道路に掛かっている駐車場の塀は5件ありました。

今後は、個別に、その塀の除去が有効か(塀を除去した後に電柱等が残らないか)等を検討していきます。

